

## 第12回比田井天来・小琴顕彰佐久全国臨書展 **佐久市長賞**

現代書道の父と言われた比田井天来先生と令室の小琴先生を顕彰するこの書展は、小中学生であっても出品作は古典臨書に限られており、極めて高難度の書道展でもあります。

この書展に附属中2年の小川あんじゅさんが中国唐時代の顔真卿(がんしんけい)という人が書いた「自書告身」の臨書を出品。雄大・重厚にして気迫に満ちた作品は審査員の先生方の心を捉え、最高賞に次ぐ佐久市長賞を受賞いたしました。小川さんは書道部員として高校生に交じり黙々と精進を重ね、この書展だけでも百枚以上の書き込みをしています。まさに「不断の努力」の賜物と言えるでしょう。



右上の「光我王度」  
が小川さんの作品